



感染制御部の取り組み



【ICTの活動】

＜感染制御チーム＞
-Infection Control Team-
手指衛生直接観察

感染症の原因となるウイルスや細菌などは目に見えません。
色々な場所や人を触る病院職員は、手をキレイ（手指衛生）にすることが基本中の基本です。

患者さんの部屋（エリア）に入る時と、出てくる時に
手指の消毒をしているかチェック!!



感染制御は目に見えないものとの闘いです。
日夜、感染に関わる業務・活動を行っています!!

ICT・ASTメンバー



【ASTの活動】

＜抗菌薬適正使用支援チーム＞
-Antimicrobial Stewardship Team-
AMR(薬剤耐性)の原因

- 抗菌薬の不適切な選択
- 必要以上の長期投与

適切な抗菌薬の使用と、患者さんを支援するため、整備された実働部隊です。

感染制御部内で
抗菌薬使用事例の検討



病棟を訪問し主治医と議論
(ASTラウンド)



不適切な抗菌薬の使用を続けると、いざ感染症を治療する時に使える薬が無くなってしまいます!

"No action today, no cure tomorrow"
(今日動かなければ、明日の治療はない)

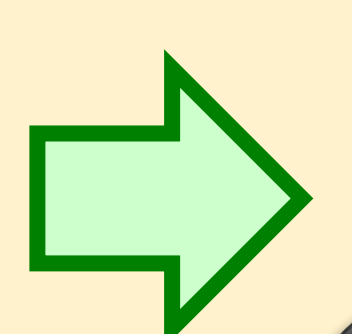
現在、未来に使える抗菌薬を残すために、
世界で、日本で、そして群馬大学でAMRへの
対策に取り組んでいます!!

【チーム内での検査技師の活動】

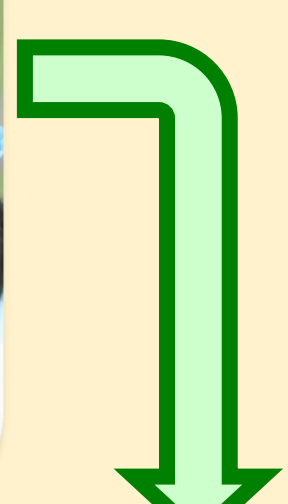
感染症の原因菌、薬が効きにくいかなど、様々な検査を行う検査技師は、感染制御にとって大きな存在です。

主な業務

細菌検査室に、様々な検体が集まってきます。

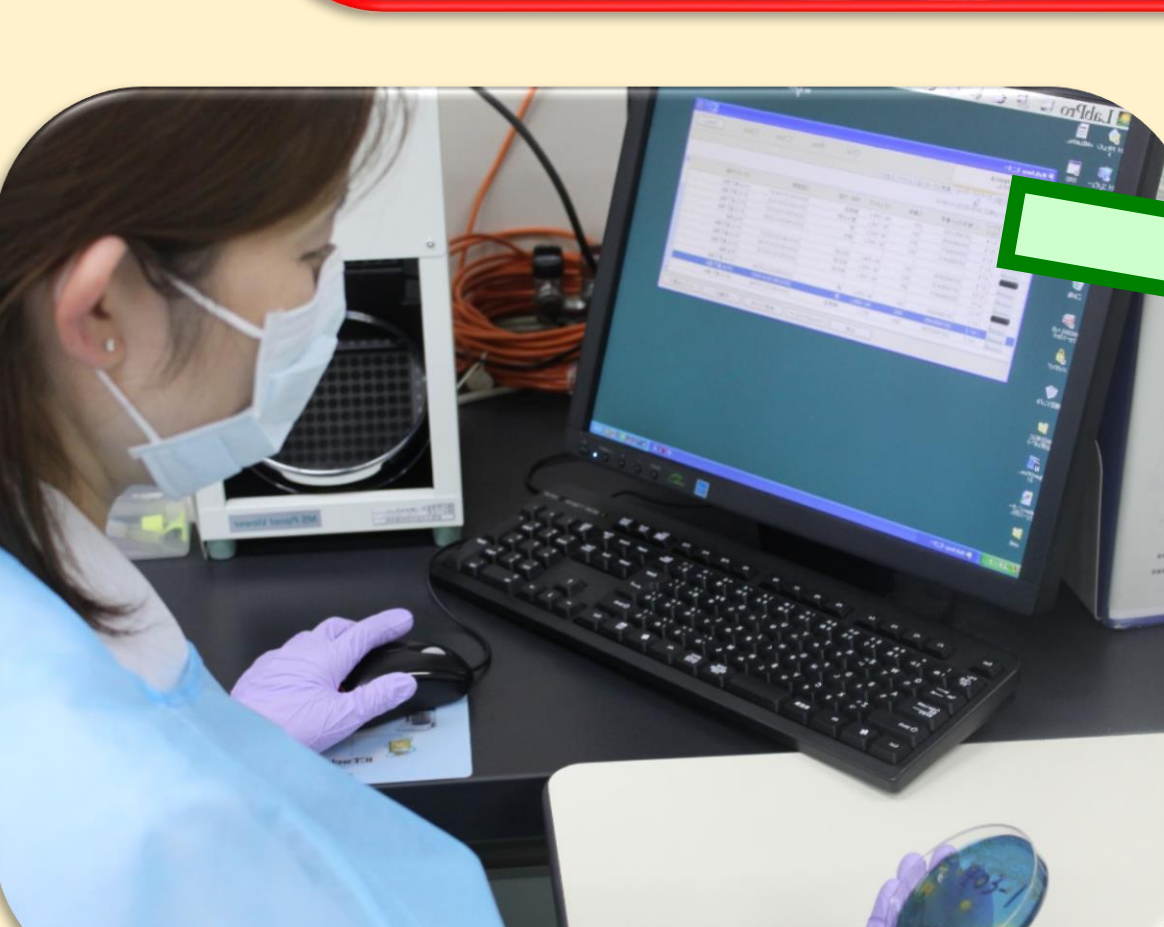
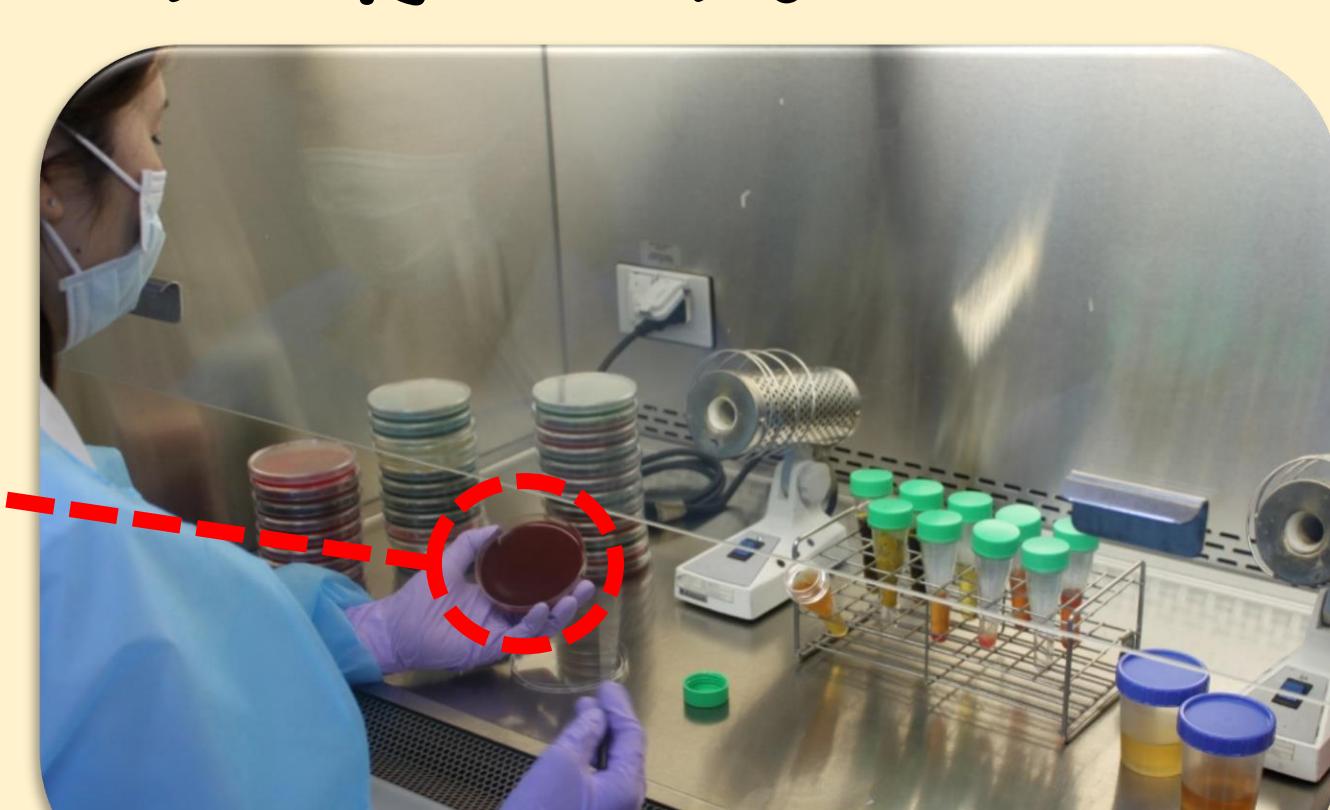
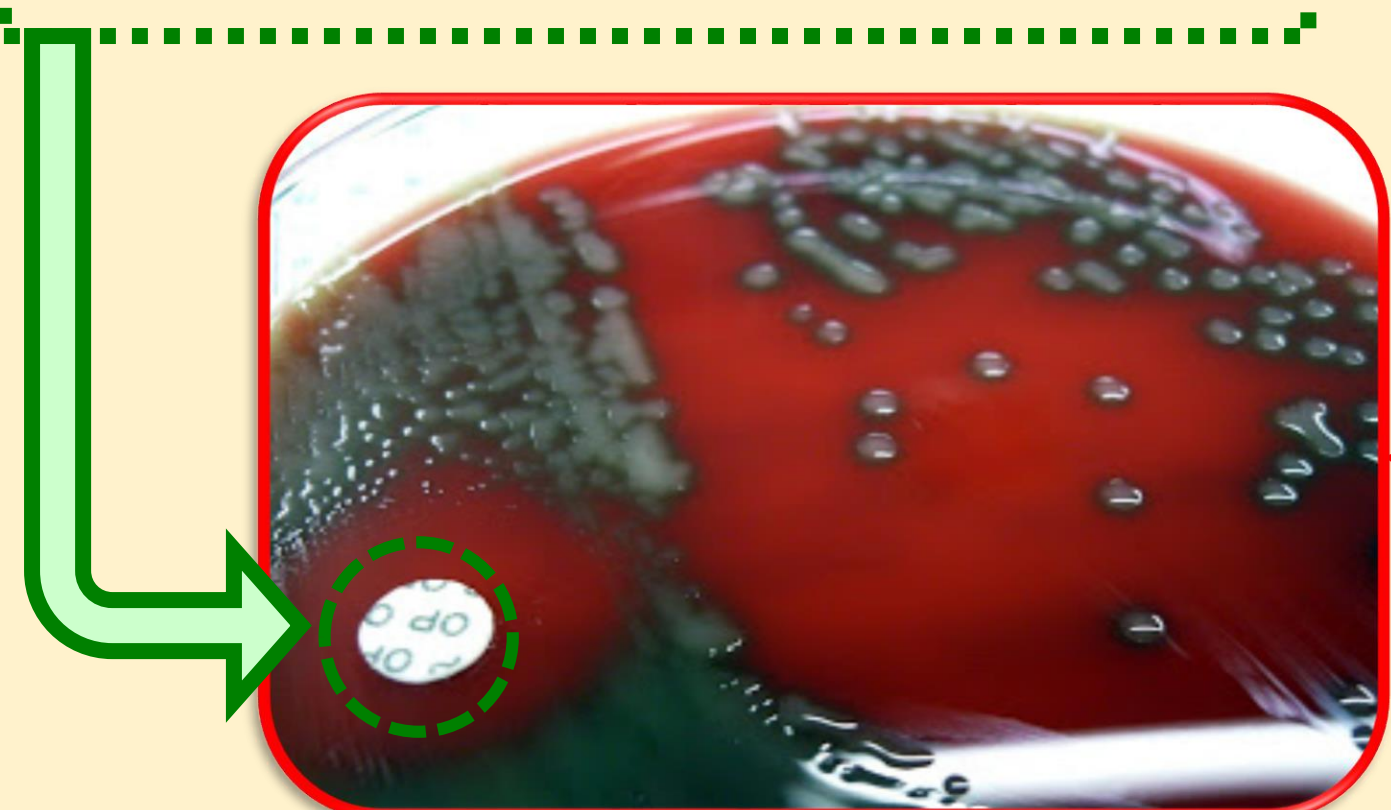


検体の中に菌がいるか確認。あ!!肺炎を起こす菌だ!



菌を目に見える形になるように育てます。

育てた菌に薬が効くのか詳しく検査します。



病院全体でどのような菌がいくつ検出されているか把握し、耐性菌が生まれないように監視しています!!

【チーム内での薬剤師の活動】

感染症治療に薬剤師が関わることは、患者さんに適切で安全な抗菌薬の治療を提供するために不可欠です。

主な業務

抗菌薬の使用理由や検査の実施をチェック!!

抗菌薬の使用時は感染症の原因を調べる検査を出して、薬の選択が最適なのか確認します。

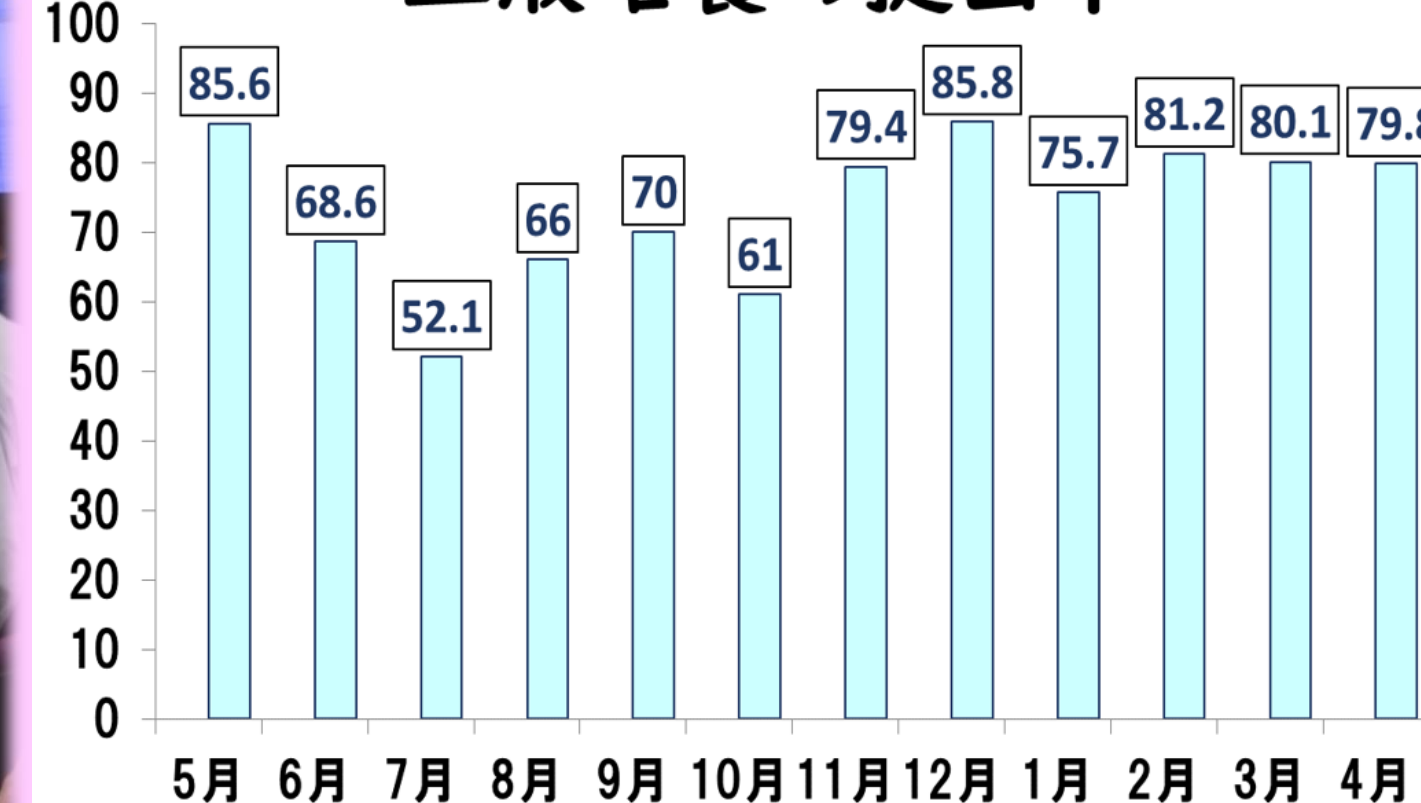
届出

- ・感染症病名（または感染臓器）
- ・培養検査（検体と実施日）
- ・薬剤名

ICUカンファレンス参加



血液培養の提出率



抗菌薬の使用状況を管理し、有効な感染症の治療が行われるように日々、活動しています!!